

雜報

●敘任及辭令

敘勳五等授瑞寶章

從六位勳六等

井崎 精一

(二月二十五日)

敘從五位

正六位勳五等醫學博士

島 蘭順次郎

敘正七位

從七位勳六等

泉 松之助

敘正七位

從七位勳六等

高 城 喬

敘正七位

從七位勳六等

佃 卓三郎

敘從七位

正八位

菅 田 直樹

敘從七位

正八位

高 橋 昌夫

敘從七位

笹 原 竹三

(二月三十日)

岡山醫學專門學校教授

好 本 節

小兒科學研究ノ爲滿二箇年間米國英國佛國へ留學ヲ命ス

(二月八日)

岡山醫學專門學校教授

木 下 益 雄

外科學研究ノ爲滿一箇年間米國及瑞西國へ留學ヲ命ス

(二月九日)

九州帝國大學醫科大學助教授從七位 井 戸 泰

任東京帝國大學醫科大學助教授

敘高等官六等

本俸一級俸下賜

東京帝國大學醫科大學助教授

井 戸 泰

(二月十二日)

東京帝國大學醫科大學助教授

井 戸 泰

歐米各國へ出張被仰付

(二月十八日)

陸軍一等軍醫 三宅伯一郎

依願豫備役仰付

(二月十九日)

賜一等給

陸軍一等軍醫 漆 原 亮 平

賜二等給

陸軍一等軍醫 小 金 井 拙 夫

(二月二十六日)

●學生入校 大正七年陸軍々醫學校上長官學生として陸

軍三等軍醫三河内諄一君は本月一日入校せり

同年第一回同校學生として左記の本會々員諸君は本月一

日入校せり

專攻學生

陸軍二等軍醫

藏本貢

普通學生

陸軍三等軍醫

大谷顯三

陸軍三等軍醫

岡田俊之

●人事彙報

○木下益雄君 岡山縣費を以て文部省より外科學研究の爲め歐米に留學を命せられたる岡山醫學專門學校教授木下益雄君は本月十九日横濱解纜の春洋丸にて米國に向て出發せられたり

○好本節君 は今般小兒科學研究の爲め米、英、佛國へ留學を命せられたり因に記す君の出發は五月上旬なりと
○三好智整君 在米の同君は今回左記の通り轉居せられたり

50 $\frac{1}{2}$ N. 3rd. st

Portland, Ore.

U. A. S.

○西川義英君 は今般岡山醫學專門學校外科學講師を囑託せられ本月十五日着任せられたり

○渡邊達君 は豫て福岡縣鞍手郡宮田村貝島菅牟田鑛山病院に勤務し居られしが今般佐賀縣東松浦郡嚴木村貝島岩屋鑛山病院長に轉勤せられたり

○山口茂君 は今般大阪市南地明治醫院に勤務せられたり

○井上八重二君 は今般横濱市立万治病院に勤務せられたり

○白石隆二君 は今般横濱市相生町矢崎病院に勤務せられたり

○石松又生君 は豫て東京順天堂醫院に勤務し居られしが今般神奈川縣川崎町東京電氣株式會社醫務室に勤務せられたり

○沖原太郎君 は郷里山口縣熊毛郡室津村に於て靜に病を養ひつゝありしが今般全快せるを以て岐阜縣郡上郡八幡町郡上病院に勤務せられたり

○湯山辨作君 は今般大阪府枚方町枚方病院を辭し神戸

市醫師會附屬「ラヂウム」治療所に轉勤せられたり

○長谷雄三郎君 は豫て岡山縣病院小兒科に勤務し居られしが今般本縣倉敷町倉敷紡績會社萬壽分工場醫局に轉勤せられたり

○平野主計君 は豫て岡山監獄に勤務し居られしが今般其職を辭し日本郵船會社船醫に轉勤せられたり

○橋本猛夫君 は德島縣に於ける岡山醫學同窓會を代表して本會第二十九回總會に出席せられたり

○日下部弘君 は本會第二十九回總會に列席の爲め來岡せられたり

○進藤 進君 同上

○妹尾 良藏君 同上

○水野 善一君 同上

○岡村 儀人君 同上

○後藤許太郎君 同上

○村上 嶺二君 同上

○小國積治君 は今般姫路市本町に移轉せられたり

戸出宇三郎君逝く 同君は本月初旬より病氣に罹り種々療養に手を盡されしも其效なく遂に本月二十一日享年六十六歳を以て遠逝せられたりと茲に謹みて哀悼の意を表す

伊達績君逝く 君は明治十八年七月岡山縣醫學校を卒業し本縣川上郡日里村に於て開業し居られしが先般病を以て遠逝せられたりと茲に謹みて哀悼の意を表す

○在京同窓會 本春日本醫學會開催に際し地方より上京せらるゝ諸士を歓迎し舊情を温むべく岡山醫業同窓會を本年四月一日午後五時より東京淺草仲見世今半に開會せらるゝよし詳細は廣告欄にあり

岡山縣
院 内科集談會記事

(二川記)

●●●●●●●●
第十八回例會 二月十日(木曜日)

第一席 蠟製模型製作法に就いて

上月 隆君

演者は蠟製模型製作法を概説し、之が製作上種々なる
注意を附説せり。(二川抄)

第二席 「インヂカン」の一新證明法に就いて。

井上 秀 男君

演者は竹内氏「インヂカン」新證明法を概説し、之が實
験を供覽せり。(自抄)

第三席 十二指腸蟲の卵及仔蟲の抵抗力に就いて

新 宗 一君

演者は十二指腸蟲卵及其の仔蟲の溫度、光線竝に藥物
に對する抵抗力を概説せり。(二川抄)

第四席 バセドー氏病に就いて

附 下垂體越幾斯注射療法

白坂 正 吉君

演者はバセドー氏病の原因、症候、經過竝に療法を詳
述し、併せて下垂體越幾斯即ち「ビットリン」、及「ゲ
ブルチン」注射の著しく有效なりし一例を報告せり。

(自抄)